どう守るか 児童 生徒の安全を 学校・ 家庭 地域が一体となって •



いである。 しい人間に成長してくれ ることは町民すべての願 に健全で心豊かなたくま 児童・生徒が心身とも •

であるか。 らえ、対処していく考え らなければならないが、 童・生徒の命は守ってや ことは許されないし、児 このような事件を起こす 発生している。町内から る登下校時の殺害事件が が失われ、異常ともいえ 生徒の校外における安全 この問題をどのようにと しかし、昨今、 児童

学校 ・家庭 地域 一体で

される痛ましい事件が発 学校一年生の女児が殺害 広島県・栃木両県で小

67

か

教育長

	通学路の	生し、私たちの身近でも 感じております。 学校では不審者に対し 空下校時間に合わせた散歩の がして対策として、分 がしてするのではと不安を がした対策として、分 がした対策として、分 がしてすい、 やでは不審者に対し でる風土、 声かけ、 登下 では の指導を 徹 で で で な で は の 指 に 対 し て お り ま す の に な ど の 指 に 対 し て お い た ち の り ま す の で は と の で は し て 行 い、 P T A 専 門 の 指 に 対 し て お い た 方 の で は と の ま で に 、 や て に 、 や て に い、 や て に い 、 や て に い 、 や て に が し て 行 い、 た ち の 指 に ず も れ し て 行 い、 た ち の 指 に 交 め で は の 指 。 で は の っ た ち の の 指 に ず や で し て た い た の で に 、 や で に 、 の で は ら の で に 、 か で 、 た ち の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で し て 、 、 か で 、 で 、 の で し て 、 、 で で 、 の で し て 、 の で 、 の で で し て 、 で も で 、 の で し て 、 で や に 、 の で ら で し て 、 や に で も で し て 、 や に で 、 の で し て 、 の で ら で ら で も で も で し て 、 の で ら で ら で し て 、 の で ら で ら で ら で て 、 の で ら で ら で ら で て る で ら で ら で の で し て 、 の で ら で ら で た し て 、 か に で ら で ら て 、 の で し て 、 の で ら で ら で ら で ら て 、 の て 、 の で ら ち で ら て の て の て 、 の で ら で ら で ら で ら で ら で ら の で つ て 、 う つ て 、 の つ で つ つ つ で ら の う つ つ て う つ う つ う つ う つ う つ ち つ う つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ
--	------	--

いる。 利用状況も変化してきて 発生しており、 阿野議員 今回の事件は下校時に

を再度確認すべきではな 見直しをして安全 通学路の 教育長

見直しも指導したい

個人で購入したり、P

りますので、今後、 取組んでいるところもあ いと考えております。 会などで指導していきた いるところもあり、 生徒で通学路を点検して 教育長 学校と保護者、 児 童 校長 また

防犯ベルを 携帯させよ

して、 えはないか。 全策と考えるが、 せることが児童を守る安 直面したときの防衛策と 阿野議員 不審者に対する危機に 防犯ベルを携帯さ その考

も受けております。

PTA 等で 対応している

ではないところもありま 持っておりますが、 小学校では、 7校とも 全員

す。

ります。 阿野議員 実情に応じて対応してお しているところもあり、 TAや安全会などが寄贈 のねらいは何か-家庭学習の手引き-学力の低下が指摘され

らい 徒に配布しているが、 き)を作成し、児童・生 き」(チャレンジおおさ いるが、「家庭学習の手引 学力の向上にも取組んで いと考える。 果たす役割は非常に大き ている中で、 いは何か。 本町は現在 家庭学習の わ

> 利用を通して、テストに ます。 学ぶ意欲を感得させ、 切さを訴え、学ぶ必要性 教育長 るようになったとの報告 対して意欲的に取り組め 庭と連携をとって学力向 受け研究を進めてまい 力向上推進地域の指定を めることや家庭学習の大 ました。 上に取り組むためであり 確かな学力の向 学習に対する意欲を高 本町は文部科学省の学 「家庭学習の手引き」の E 家 Ŋ



学習のしつけや家庭学習の手引を 掲載した「チャレンジおおさき」